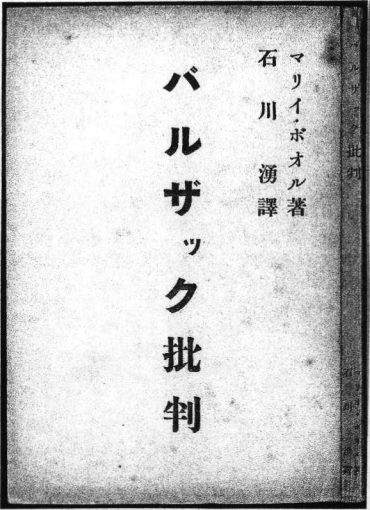


石川漢 いしかわ フランス文學翻譯家。明治二十九年十一月十日栃木縣
 生れ、昭和五十一年十月二十一日歿（一九六一年）。筆名片野有一。昭
 和二年東京外國語學校佛語科卒。外務省陽託、共同通信社等、勤務。
 のち東京學藝大學、日本工業大學各教授歴任。

譯書、マルク・イツコウイッ子著『史的唯物論より見たる文學』（昭
 和四年七月二十日春陽堂）、フイリップ・スーポウ
 フランシス・ミオマンドル 作『カシノ
 パリ變奏曲』（丹京一郎共譯、昭和五年四月十八日春陽堂『世界大
 會大端シヤズ文學』）、マリイ・ポ
 オル著『バルザック批判』（昭和九
 年六月二十日樂浪書院）、エミイ
 ル・フヤゲ著『讀書術』（昭和九年
 十二月十五日松村館書店。再刊・十
 一年四月十五日春秋社『春秋文庫』
 第二部）、十五年五月十九日『春秋社思想叢書』）、サント・ブウゲ
 著『わび毒舌』（昭和十年十月十六日サイレン社。再刊・十四年十月
 二十日改造社『改造文庫』）、テイボオデ著『批評の生理學』（昭和
 十一年四月十五日春秋社『春秋文庫・第二部』）、シルザイオ・ペリ
 『著』『獄中記』（昭和十一年十月七日春秋社。再刊・二十五年二月十
 五日中央社）、ゲウルモン著『文學的散步』（昭和十二年一月十五日
 春秋社）、ルウジヒモン著『失業インテリの日記』（昭和十二年二月
 二十日春秋社）、ヴェルドラツク作『ライオンの中のね』（昭和十
 六年四月二十日中央公論社『ことわざ文庫』）、ドラマン著『寫はな
 せ歌』（昭和十六年九月十日（空書房）、イヌコウイッ子著『藝術



と精神分析』(昭和十七年十一月)、『自由新書房』、ヤラン著『辛
癭論』(昭和二十年十一月十五日萬里閣)、リシエ著『人間論』(昭
和二十一年六月)、『千の萬里閣』、スターリン著『憲法論』(昭和
二十一年九月)、『千の萬里閣』、『解放文庫』、トーマス・マン著
『ユーロツプの怪物』(昭和二十四年二月十日京都・大雅堂)、シミ
ユニ著『虫』、『博物誌一』(昭和二十五年六月五日)、『再刊』(二十六年二
月二十一日岩崎書店)、同『鳥』、『博物誌二』(昭和二十六年四月二
十日岩崎書店)、モルガン著『人間の進化』(昭和二十七年二月十
日岩波書店)、『岩波現代叢書』(同)、『世界の重み』(昭和二十八年一
月十四日岩波書店)、『岩波現代叢書』(同)、『タロード・ロダ著』、『澤東一
新中國の鏡』(昭和二十八年六月)、『千五百創元社』、『創元新書』(同)、モ
ルガン著『羅針盤のない旅行者』(昭和二十年五月)、『千五百岩波書店
』、『現代の文學』(同)、テルデュー・ナン著『雪の上の七つの太陽』(昭
和二十年九月)、『千五百岩波書店』、『岩波少年文庫』(同)、モルガン著『言
語道断』(昭和二十一年二月十日岩波書店)、『現代の文學』(同)、ジユ
ー・ベルヌ著『海底三万里』全二冊(上)、『昭和二十一年十一月十日、
下』(二十二年五月十日岩波書店)、『岩波少年文庫』(再刊)、『二十七年九
月十日』、『岩波少年文庫全集』(同)、シモーヌ・ウエーエ著『抑圧と自
由』(昭和二十二年十一月十日東京創元社)、マツルジエネル著『辛
亥革命見聞記』(石川布美共訳)、『昭和四十五年六月十五日平凡社』、『東
洋文庫』(同)等。

編書『石川冬子作品集』(昭和四十八年一月二十五日緑林社)等。